

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	30-3
PDCA	主要事業名		乙川中学校改築等事業		部課名		教育部学校教育課			担当	榊原
										内線	517
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 1 - 3 単位施策： 義務教育										
	全体事業期間： 令和 元 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 4,402,882 千円										
	会計		一般会計			歳出科目： 09.03.03.02.50					
	事業概要等		事業概要： 乙川中学校の全ての校舎（南棟・中棟・北棟）及び柔剣道場の改築（建替え）を行う。現グラウンドに建設し、既存校舎跡をグラウンドにする。 校舎及び柔剣道場を令和3年度から令和4年度に、グラウンド整備を令和5年度に行う。								
			事業目的： 老朽化した学校施設を計画的に更新し、生徒の学習環境の向上を図る。								
			事業内容： 老朽化した学校施設（全校舎・柔剣道場）の改築を行う。								
			問題点・課題等： 全ての学校施設の老朽化等を踏まえ、学校に求められる機能を確保しつつ、ライフサイクルコストの削減や予算の平準化を図ることが必要である。								
	予算額		主要事業とする理由								
	2,918,287 千円		老朽化した公共施設の更新等による財政需要の増大が見込まれることから、学校に求められる機能を確保しつつ、限られた財源の中で計画的に施設更新を行うことが必要なため。								
	財源内訳										
	市費		得られる成果								
	783,676 千円		全体的な学校施設の更新を行うことで、生徒の安全安心の確保とともに学習環境の向上が図られる。								
	国費										
	232,211 千円		目標値や目指すべき状態								
	県費						令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	
校舎等改築工事進捗率				実績値	—	20	—	%			
0 千円						目標値	—	20	100	%	
						実績値					
その他						目標値					
						実績値					
1,902,400 千円						目標値					
D 実績値	決算額		得られた成果								
	2,906,527 千円		校舎及び武道場の建築が完了し、生徒の学習環境の向上に資することができた。								
			成果指標						令和4年度	単位	
			校舎等改築工事進捗率				実績値	100	%		
							目標値	100	%		
C 課題の整理	事業の評価・課題		B 校舎及び武道場の建築を完了させ、予定どおり供用開始することができた。								
A 課題後の決方向性	今後の事業の方向性		現状維持 令和5年度に旧校舎等の解体工事及びグラウンド整備等を実施する。								
	観点別評価		必要性		有効性			効率性			
			①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい		⑦コスト削減	ない		
			②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない		余地			
			③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない		⑧受益者負担適正化余地	ない		